

# 日本の伝統芸能

# 能

能 楽

歌舞劇 文語調 仮面劇 神話や歴史で悲劇的	セリフ劇 口語調 素面劇 庶民的で日常の喜劇

## 能の源流

奈良時代に中国から渡来した散楽（のちに猿楽と呼ばれる）

鎌倉時代の田楽の影響

能

時代

時代に将軍

が保護

観世流 父

・子

により確立

## 能舞台の構造

### 能舞台の基本構造

#### 揚幕

演者が出入りする幕。  
奥に鏡の間がある。

#### がが 橋掛り

幕内である鏡の間から  
本舞台までを繋ぐ。舞  
台としても使われる。

#### 鏡板

能舞台の正面。神が宿  
るとい老松が描かれ  
ている。

#### アト座

横板ともいう。囃子方  
が座る。アト座の天井  
は音響を考慮して斜めに  
傾いている。

#### じうたいざ 地謡座

地謡が座る場所

#### しらす 白州

能舞台の外周。白い石  
が敷き詰められている。

#### 三の松

右から3つの松が並ぶ。  
次第に小さくなるのは  
遠近感を表すため。

#### 二の松

#### 一の松

#### 目付柱

#### 見所(観客席)

後座の囃子（四拍子）



# 面 ( )

主人公 (シテ) の多くがかける

あお向ける ( ) → ( ) の表情

下を向ける ( ) → ( ) の表情

☆読めますか？

小面 ( ) 般若 ( )

## 能の役割

主役 ( ) 多くは亡霊など非現実的な役。面をつける。

相手 ( ) 人間の男性が多い。面をつけない。

## 「羽衣」を鑑賞しよう

### ストーリー

漁師の白竜 (ワキ) が漁に出ようと浜にやってくると、美しい衣が木の枝に掛かっているのを見つけます。「家の宝にしよう」と持ち帰ろうとすると、そこに天人 (シテ) が現われ、衣を返してほしいと頼みます。衣を返そうとしない白竜に天人は嘆き悲しみます。その様子に心動かされた白竜は、天人の舞を見せてくれたら衣を返すと言います。

場面の様子	演奏者	鑑賞記録
天人の悲しむ様子を見た白竜は、衣を返すかわりに天人の舞をみたいと頼む。	白竜 天人	
舞を披露した天人は、三保の松原から富士山へと舞い上がり、霞に紛れて見えなくなってしまう。	地謡 囃子	

作り物 (中央の松) が極限まで簡素化する効果はなんだろう？

能の感想